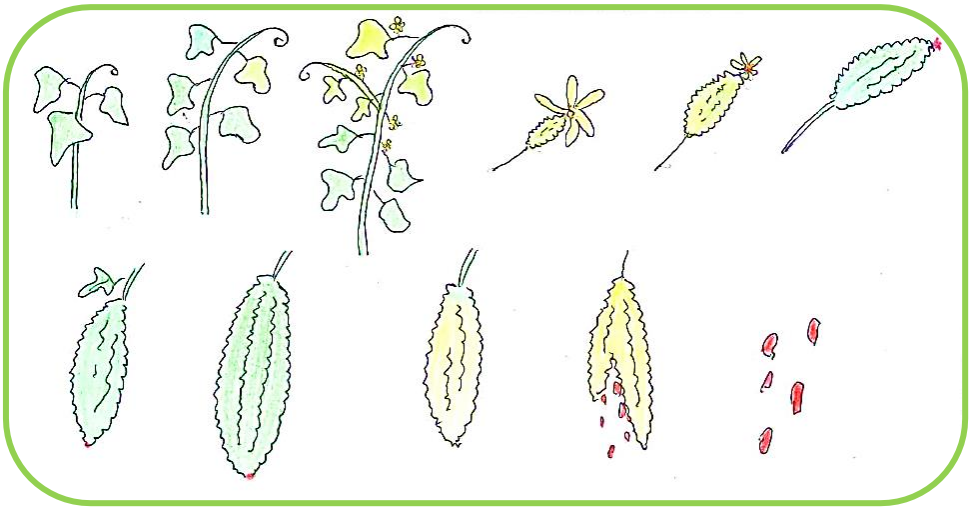
令和8年度　ヒートアイランド対策事業
みどりのカーテン市民モニター取組結果報告書







令和８年 11 月

茨木市くらし産業環境部環境政策課

１　事業概要

本市では平成 21 年度から、ゴーヤ等によるみどりのカーテンの育成に取り組む方を、市民モニターとして募集しています。

みどりのカーテンは、つる性の植物を育てて建物の壁や窓などを覆うことで、ヒートアイランド現象の緩和や、空調に係るエネルギー使用量の削減による地球温暖化対策に有効とされています。

本報告書は、市民モニターのみなさんから提出していただいた観察記録表をもとに、令和８年度の取組結果をまとめたものです。

２　取組内容

⑴ 市民モニター募集概要

募集人数　市民 50 人及び市内事業所等５団体

募集方法　広報いばらき４月号、ホームページ等

応募条件　市民または市内事業所のうち、次の要件全てに該当すること。

- 自宅または事業所にゴーヤなどの植物を育てるスペース(北側以外)があること。
- 観察記録表の提出に協力可能であること。

モニター内訳　市民 25 人、市内事業所等６団体

⑵ 説明会概要

今年度は、説明会は資料配布とし、会場で苗と資料の配付を行いました。

配付物：ゴーヤの苗６株、説明会資料、観察記録表、温度計

※温度計は希望者に貸与しました。

⑶ モニタリングの方法

①みどりのカーテンの育成

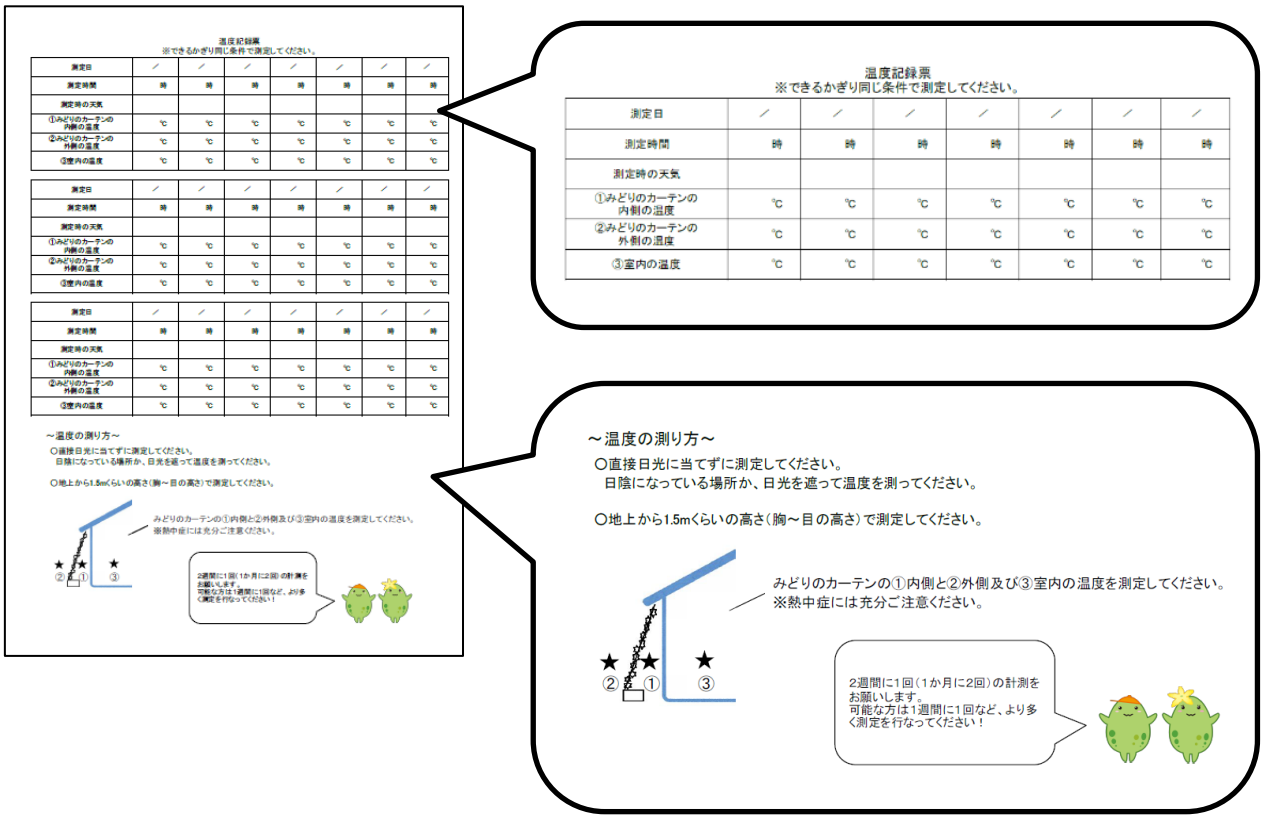
②観察記録表の作成

・２週間に１回程度、カーテンの内側の温度・外側の温度等を測定し、観察記録表に記録する。

・みどりのカーテンの写真またはイラスト、育成にあたって工夫した点なども、観察記録表に記録する。

観察記録表はアンケートとともに、令和８年 10 月に提出していただきました。

【みどりのカーテン観察記録表（抜粋）】



温度記録票
※できるかぎり同じ条件で測定してください。

測定日	／	／	／	／	／	／	／
測定時間	時	時	時	時	時	時	時
測定時の天気							
①みどりのカーテンの内側の温度	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
②みどりのカーテンの外側の温度	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
③室内の温度	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃

～温度の測り方～

○直接日光に当てずに測定してください。
日陰になっている場所か、日光を遮って温度を測ってください。

○地上から1.5mくらいの高さ（胸～目の高さ）で測定してください。

みどりのカーテンの①内側と②外側及び③室内の温度を測定してください。
※熱中症には充分ご注意ください。

2週間に1回（1か月に2回）の計測をお願いします。
可能な方は1週間に1回など、より多く測定を行なってください！

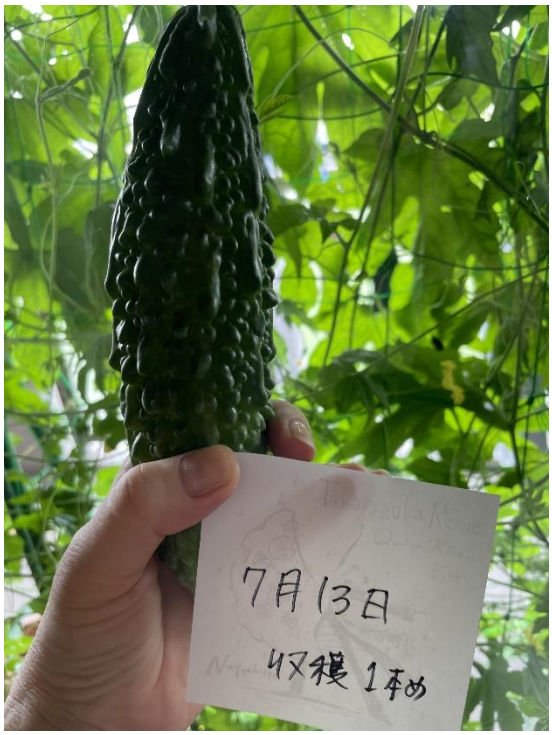
３　取組事例紹介

（1）取組のようす

　　モニターの方のみどりのカーテン育成状況の写真です。みどりのカーテンが青々と茂っています。

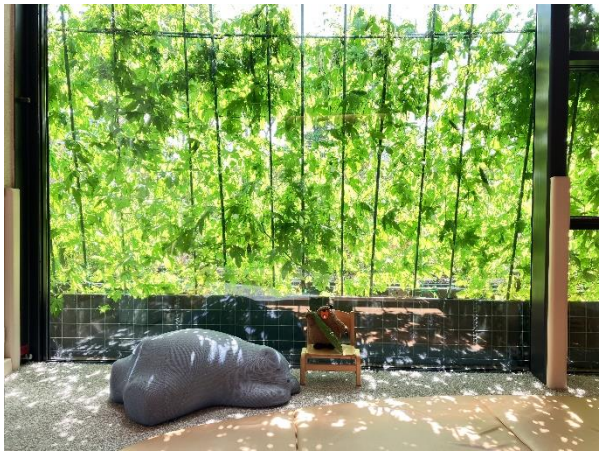
【市民の方の取組】





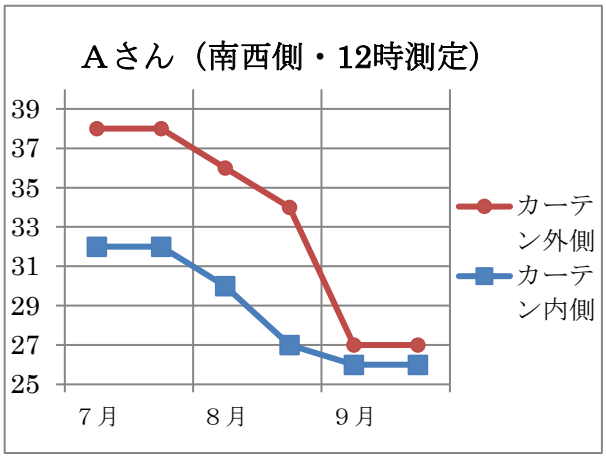
【市内事業所等での取組】



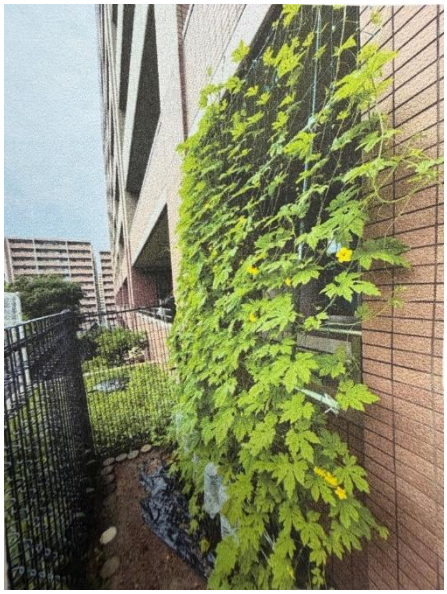


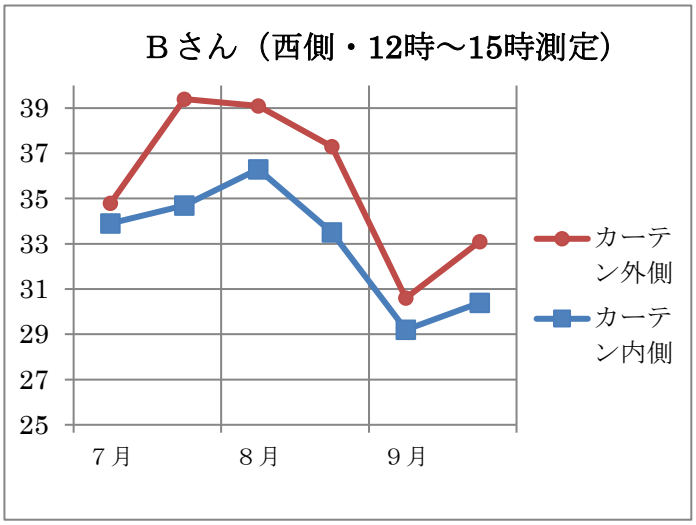
⑵ 気温測定結果

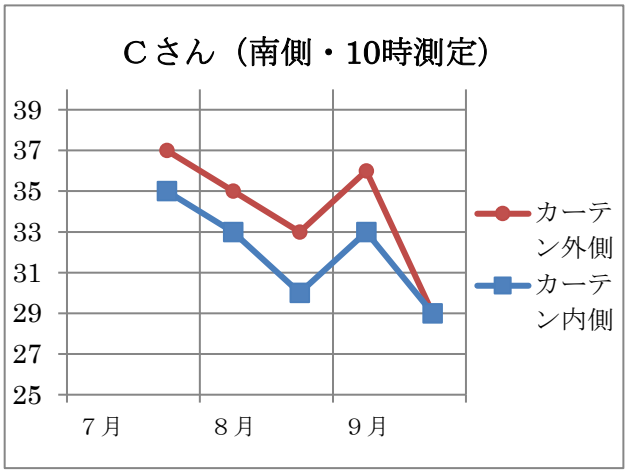
みどりのカーテンの内側の温度・外側の温度を測定していただきました。みどりのカーテンの内側と外側では、最大で７℃の温度差が出た方もいらっしゃいました。

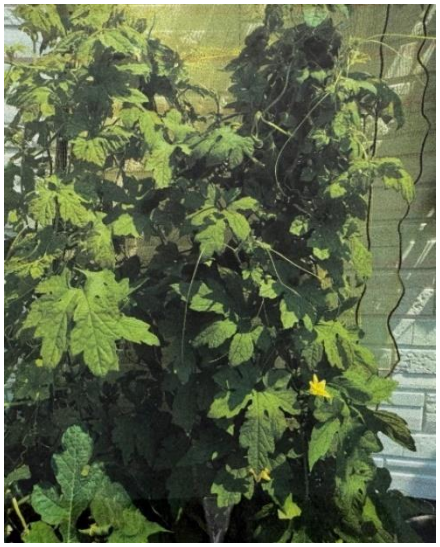










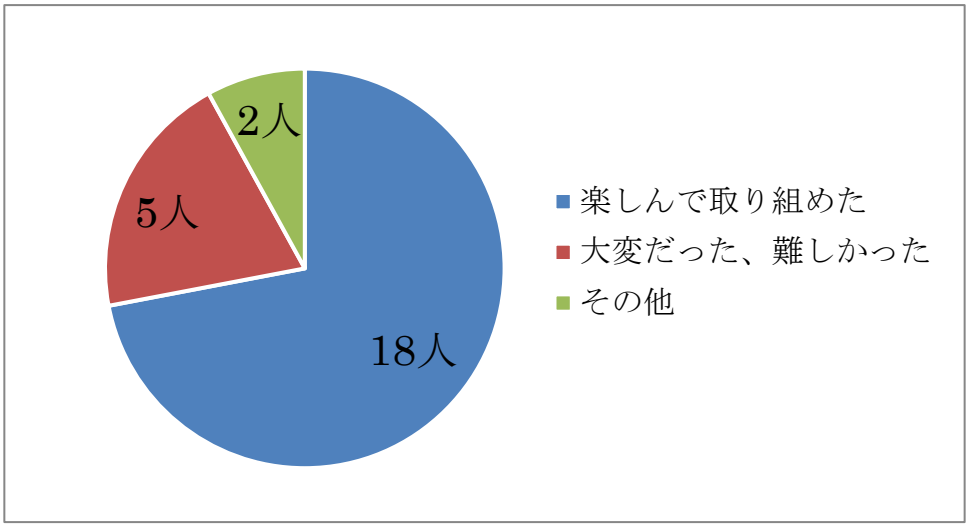


4　アンケート集計結果

モニターに取り組んでいただいた方の回答を集計し、その結果を報告します。
（回答者数２５人※団体含む）

(1) みどりのカーテンに取り組んでどうでしたか？

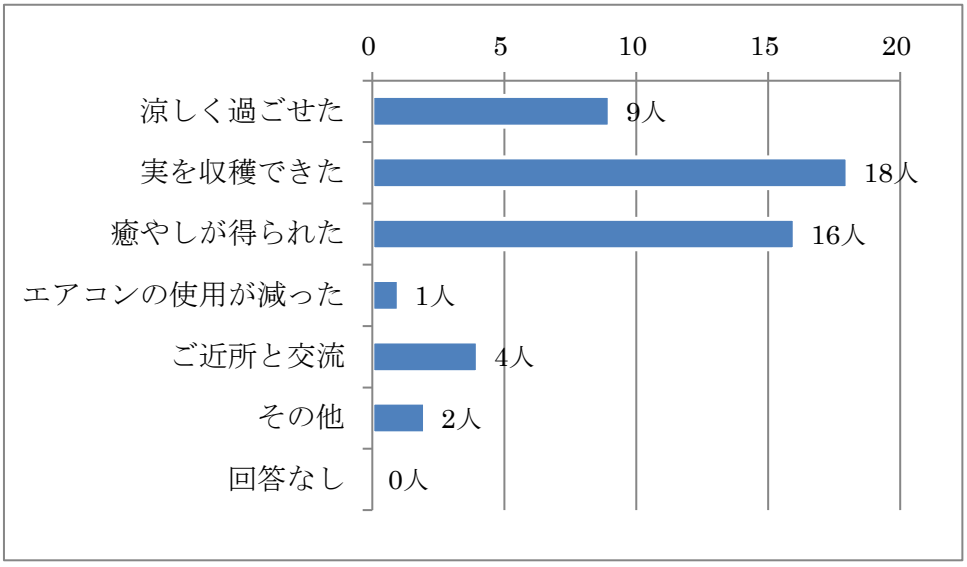
①楽しんで取り組めた　②大変だった、難しかった　③その他



その他の回答では「楽しさを感じる反面、猛暑の中で実を大きくする難しさを感じた」等の回答がありました。

(2) みどりのカーテンで良かったことは何ですか？(複数回答可)

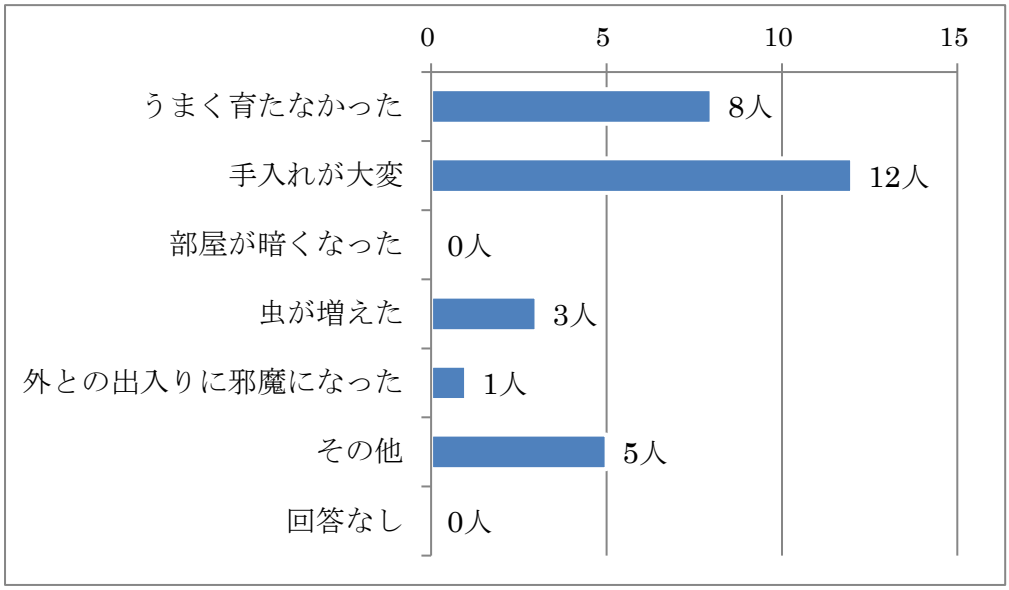
①涼しく過ごせた　②実を収穫できた
③緑が増えて、目を休められる、心がなごむなど癒やしが得られた
④エアコンの使用が減った　⑤ご近所との交流のきっかけになった
⑥その他



その他の回答では「職場で職員同士の話題になった（市内事業所等）」等の回答がありました。

(3) みどりのカーテンで大変だったことは何ですか？(複数回答可)

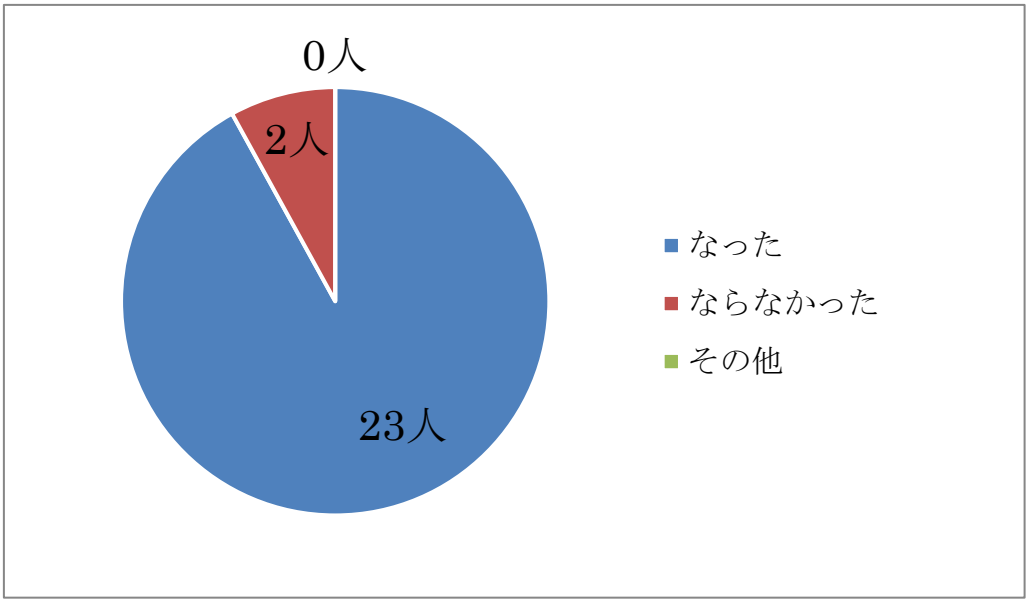
①うまく育たなかった　②水やりなど、手入れが大変だった
③部屋が暗くなった　④虫が増えた
⑤外との出入りに邪魔になった　⑥その他



その他の回答では「ゴーヤ収穫後のつるや葉などの撤収作業に時間を要した」等の回答がありました。

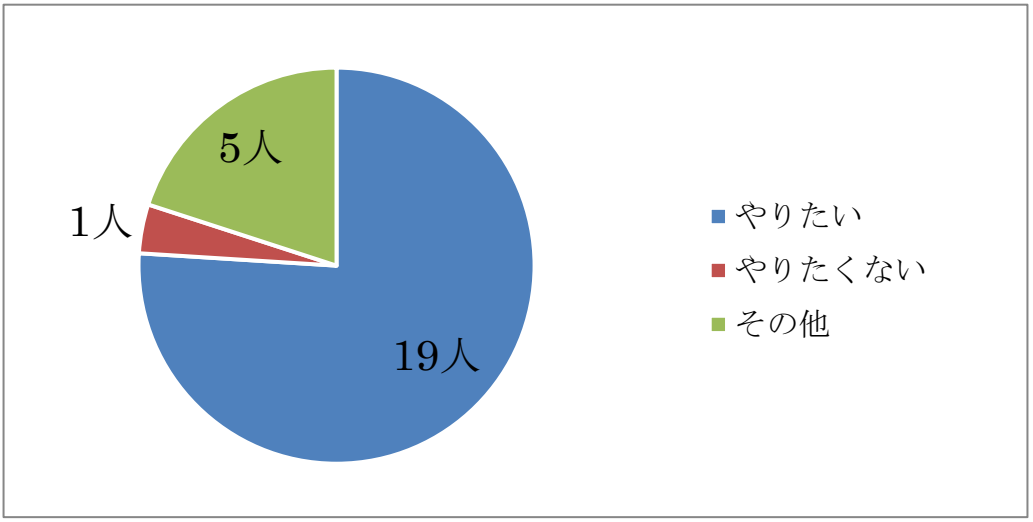
⑷ みどりのカーテン育成はヒートアイランド現象や環境問題を考えるきっかけになりましたか？

①なった　②ならなかった　③その他



⑸ 来年もみどりのカーテンをやってみようと思いますか？

①やりたい　②やりたくない　③その他



その他の回答では「場所が確保できればやりたい」等の回答がありました。

５　まとめ

今年度については、市民モニターに応募いただいた方に、苗と説明資料を配付し、みどりのカーテンに取り組んでいただきました。

夏に気温の高い日が多かったこともあり、「実があまり大きくならず、育てるのが難しかった。」という声も多く、育成するのが難しい年であったことが伺えます。そのため、上手く育てることができずに、みどりのカーテンができる前に、枯れてしまったケースの報告もありました。

このような中でも、みどりのカーテンの育成に成功した方も多く、来年への意欲をアンケートに書いてくださった方もいらっしゃいました。

今回の取組結果をホームページ等で周知することにより、引き続きみどりのカーテンの普及に努めます。



